

# 第50回幸手市文化祭参加者募集

11月に開催する幸手市文化祭の展示部門・発表部門の参加者を募集します。

- 対象** 市内在住、在勤の人または市内で活動している団体
- 申込み** 生涯学習課(市役所第2庁舎2階)、各公民館で配布している申込用紙に必要事項を記入のうえ、生涯学習課または各公民館へ
- 締切り** 7月30日(金)  
※詳しくは、生涯学習課、各公民館で配布している「展示・発表開催(募集)要項」をご覧ください。
- 問合せ** 幸手市文化祭実行委員会事務局(生涯学習課内) ☎(43)1111内線644

FAX(42)5803

● **展示の部** とき/11月6日(土)・7日(日)  
ところ/アスカル幸手メインアリーナ

部 門	種 目	備 考
絵 画 ・ 彫 刻	日本画、水彩画、油絵、ちぎり絵、版画、和紙絵、水墨画、彫刻など	1人絵画1点、彫刻1点
書 道	書道、硬筆、かな文字、毛筆細字、篆刻など	1人1点(連落以内)・篆刻はこの限りでない
写 真	写真	1人1点(四ツ切以上)
文 芸	俳句、短歌、川柳、俳画など	1人1点
ク ラ フ ト	陶芸、デコパージュ、レザークラフト、編み物、和裁、パッチワークキルト、表装、アートフラワー、パーチメントクラフトなど	1人1点(組) ※大きさなどの制限あり。
生 け 花	生け花、フラワーデザインなど	1人1点 ※大きさなどの制限あり。
郷土研究・その他	文化財・郷土研究、幼稚園・保育所などの共同作品など	上記部門に属さない創作的なもの ※大きさなどの制限あり。



▲昨年の文化祭の様子

● **発表の部** とき/11月6日(土)・7日(日)  
ところ/アスカル幸手さくらホール

部 門	種 目	備 考
民 謡	民謡	発表時間の制限あり。
舞 踊	日本舞踊、新舞踊	出演日時については実行委員会 で調整します。
カ ラ オ ケ	カラオケ	
一 般	合唱、吹奏楽、奇術、大正琴、バレエなど	

## 教育委員会としての方針決定

幸手市教育委員会は、教育審議会の最終答申等(※参照)を基本的に尊重し、諮問事項に関する方針は、次のとおりとします。

### 教育委員会の 方針決定内容

1 吉田幼稚園の今後のあり方について

(1) 吉田幼稚園存続の可否について

東地区にある公立幼稚園としての役割を必要としていることから、当分の間、吉田幼稚園を存続させながら適正な数の教職員配置や教職員の年齢構成の偏りを是正することに努める。

また、保育料等については、私立幼稚園の状況などをもとに、一層の適正化を図るものとする。

さらに、園児の定員は、105名とするともに入園が必要と認められる園児については、教育的な配慮をする。

2 幸手市の小学校教育のあり方について

(1) 市立小学校の統廃合の方向性について

急激な児童数の減少により、複式学級の出現が見込まれる香日向小学校については、保護者・地域住民の意向を尊重し、同校を廃し、長倉小学校と統合する。

なお、統合の時期は、平成24年4月1日とする。

次いで、行幸小学校、権現堂川小学校、吉田小学校、八代小学校については、小規模な学級、学校であるが、複式学級の出現が見込まれることや立地上の実情及び地域的特性を考慮し、統廃合は行わないものとする。

(2) 小規模校における小学校教育について

小規模校における小学校教育の改善・充実などの学校経営上の創意・工夫を進めるため教職員の年齢構成上の改善及び教育支援員の配置などに努める。

(9)

# 平成21年度の 幸手市の ごみ量



16,324 t  
昨年度比-288t

ごみ収集総量	総量	16,324 (16,512)
	燃やせるごみ	11,123 (11,178)
	燃やせないごみ	751 (752)
	粗大ごみ	579 (597)
	資源物	3,871 (3,985)

※単位はt(トン)。  
 ※( )内は平成20年度分。  
 ※処理量は、処理時期のずれや  
 残さ(ざんさ)の発生により、  
 収集量と一致しません。

家庭ごみ	総量	14,126 (14,345)
	燃やせるごみ	9,030 (9,136)
	燃やせないごみ	733 (727)
	粗大ごみ	559 (578)
	資源物	3,804 (3,904)

▲収集および直接搬入

事業ごみ	総量	2,198 (2,167)
	燃やせるごみ	2,093 (2,042)
	燃やせないごみ	18 (25)
	粗大ごみ	20 (19)
	資源物	67 (81)

▲運搬業者搬入

焼却処理	総量	11,541 (11,604)
	家庭ごみ	9,030 (9,136)
	事業ごみ	2,093 (2,042)
	収集ごみ中の可燃残さ	418 (426)

▶杉戸町環境センター

破碎等処理	総量	1,291 (1,245)
	破碎処理	952 (987)
	未破碎処理	339 (258)

▶桜泉園(粗大ごみ処理施設で処理)

有害ごみ	総量	21 (15)
	廃乾電池	15 (10)
	廃蛍光管	6 (5)

▶桜泉園(ストックヤードから処理先へ引渡し)

資源物	総量	3,518 (3,648)
	ビン	391 (406)
	缶	165 (172)
	ペットボトル	190 (194)
	その他プラ	785 (822)
	紙・布	1,987 (2,054)

▶桜泉園(ストックヤードから処理先へ引渡し)

## 幸手市のごみ量について

ごみ減量化および資源リサイクルには、日頃から市民のみなさん  
 のご協力をいただき、ありがとうございます。  
 ごみ全体の量は、前年度より微減しており、燃やせるごみ量も減少しま  
 した。今後も燃やせるごみ量が増えないよう、ご協力をお願いします。  
 資源物は、燃やせるごみに混ぜずに、リサイクルしましょう。  
 問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226



ごみ量を減らすには、  
 日ごろの分別が  
 大切です。

※【最終答申内容】  
 1 吉田幼稚園の今後のあり方について  
 (1) 吉田幼稚園存続の可否について  
 吉田幼稚園の開園以来30年が経過した現在、少子化傾向、経済状況の悪化、私立幼稚園との関係など、当園をとりまく社会環境は、大きく変わってきている。そのような状況を踏まえ、本市の公立幼稚園として、望ましい幼稚園教育を進めるにあたり、次のとおり、現状を工夫、改善しながら幼稚園を存続させること。  
 ア 園児数の規模に応じた適正な数の教職員の配置に努める。  
 イ 教職員年齢構成の偏りを是正するために、若手教職員の積極的活用を図る。  
 ウ 入園料・保育料について、私立幼稚園との格差に鑑み、いっそうの適正化を図る。  
 エ 園児の定員は、概ね105名とする。  
 ただし、入園が必要と認められる園児については、教育的な配慮をすること。

## 市立小・中学校の統廃合のあゆみ

幸手市の小・中学校は、昭和50年代後半から昭和60年代始め頃、児童・生徒数が頂点となり、その後急激な減少期を迎え、多くの学校で学級数が減少し、学校の小規模化が進んできました。そこで統合により、平成15年度にさかえ小学校、平成17年度にさくら小学校を開校するとともに、平成21年度に栄中学校を幸手中学校に統合し、適正規模による望ましい学校配置を実施してきました。



方針決定に関する詳細は、市ホームページをご覧になるか、教育委員会総務課へお問い合わせください。  
<http://www.city.satte.lg.jp>  
 問合せ 教育委員会総務課  
 ☎(43)1111 内線62  
 1・FAX(43)3188